

# 平成18年度学習到達状況調査 結果のポイント

## 今回の調査における主な課題

### 【国語】

読み取った内容を基に、目的や意図に  
応じて、自分の考えを書くこと

指示語の示す内容や副詞、接続詞など  
を踏まえて文脈を適切に理解すること  
文脈に即して漢字を正しく書くこと

### 【社会】

資料を活用し読み取った情報から社  
会的事象の意味や働きを筋道立てて考  
えること

複数の資料から必要な資料を選択し  
たり、根拠として活用して、自分の考  
えを文章で表現したりすること

方位や都道府県の位置や名称などの  
基礎的な知識や概念の理解と、それら  
を活用すること

### 【算数】

式の意味の読み取りと乗除優先のき  
まりの理解及びそれらを活用すること

円と四角形が重なった部分など、複  
合図形の面積を求めること

平均の意味理解とそれらを活用する  
こと

ともなって変わる2つの数量の間に  
あるきまりの一般化と、見つけたきま  
りを利用して問題を解決すること

### 【理科】

水を加熱したり、閉じこめた空気を  
圧したときの観察、実験の様子を再現  
したり、思考、判断したりすること

「受粉」や「へい列」など、科学的な  
用語について理解し、それを用いて説  
明すること

乾電池のつなぎ方から豆電球の明る  
さの違いを判断するなど、特徴や規則  
性を、現象に当てはめて考えること

## 指導の改善のポイント

他の領域の学習と関連付け、自分の考えを記述す  
る機会を増やすとともに、「書くこと」への必要感  
や意欲を育てる。

語彙力を充実させ、文章の構成や論理の展開を踏  
まえて内容を理解していくようにする。

日常生活での活用を視野に入れ、実生活での活用  
を促しながら、繰り返し指導し、基礎・基本の定  
着を図る。

問題解決的な学習では、必要な資料を選択し、根  
拠として活用しながら自分の考えを文章で表現す  
る学習活動を取り入れるようにする。

単元末では、社会的事象をキーワードでまとめたり、  
事象同士の関連を文章でまとめたりして学習  
の内容を振り返る。

地図や資料を系統的、継続的に授業やその他の場  
面で活用するように意識付ける。

基礎的・基本的な計算などについては繰り返し指  
導するとともに、式から問題をつくる活動や他者  
が考えた式の意味を説明する活動を充実させる。

単に公式を暗記させる指導ではなく、面積の求め  
方を考える過程を大切にす。

具体的な事象を扱いながら意味を理解させる指  
導を充実させる。

関数の考え、一般化や発展的な考え方をするよさ  
を感じさせる指導や、反例を挙げて説明する活動  
を充実させる。

結果を予想した上で観察、実験を行い、観察、実  
験で得たデータについて予想を基に十分に考察を  
行う。

重要な用語については、観察、実験で見出したこ  
とをもとに確実な理解ができるよう指導を行う。

日常生活や実生活との関連を図り、ものづくりな  
どを通して、実感をともなった理解ができるよう  
に指導する。